

花と緑の銀行だより

209号 2018.9



花のまちづくりコンクール審査風景

上段左：砺波市五ヶみちグループ 上段右：魚津市経田花と緑の振興会

下段左：富山市立船峯小学校 下段右：氷見市速川保育園

目

次

- ・花と緑の提言 みどり維新の町 立山町（立山支店） 2
- ・活動事例 子供が遊べる、子供を育む庭づくり（入善支店） 3
- ・報告コーナー 第45回富山県花のまちづくりコンクール 4
- ・技術講座 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン 31 キキョウ（職藝学院 渡邉美保子） 6
- ・この人あり ライトレール沿線を花いっぱい（富山支店岩瀬地方銀行 板倉利明） 7
- ・お知らせコーナー 10月～12月の主なイベントなど 7



みどり維新の町 立山町

花と緑の銀行 立山支店長
立山町長 舟橋 貴之

立山町は国際的観光地であり国立公園でもある立山黒部アルペンルートの麓にある緑豊かな町です。

多い年には20mの積雪がある「雪の大谷」に代表される、立山連峰の雪解け水の恩恵を受け、町には山間部から平野部まで広く水田が広がっており、この風景は四季折々に私たちの目を楽しませてくれます。

このような豊かな自然環境を守り子孫に引き継ぐと、立山町では平成元年 4 月29日に「立山町みどりの憲章」を制定しました。前文には「母なる自然と共に生きる『みどり維新の町』を目指す」ことが明記してあります。

宣言のきっかけとなったのは、平成元年から遡ること 2 年、昭和62年 7 月15日に京都で発表された「緑維新京都宣言」でした。

当日、元環境庁長官で緑の地球防衛基金会長の大石武一氏が「現状のままで推移すると、21世紀には地球上の森林の大部分は破壊され、人間はじめ200万種もの生物は絶滅の危機に瀕すると言われています。植物こそ生命の命です。この生命を育む自然に対して、せめて無秩序な破壊をしないことが、私たちにできる唯一の務めなのです。」と挨拶されました。

これに共鳴したのが、当時立山町長であった富樫清二氏です。緑維新京都宣言の呼びかけ人の皆さんに教を請い、平成元年 4 月29日第 1 回「みどりの日」に全国発の「みどり維新の町」を宣言したのです。

宣言から25周年を迎え町制60周年にもあたる平成25年には、グリーンパーク吉峰にて「たてやま森の祭典」を行い、無花粉杉「立山森の輝き」を記念植樹しました。

また、宣言から30周年を迎えた今年 4 月には同じくグリーンパーク吉峰にてヒノキ、ミズナラ、シラカシを記念植樹しました。



写真1 みどり維新の町30周年記念式 記念植樹(H30)

このような記念植樹をはじめとして、町ではこの宣言に沿った様々な取り組みを行っております。

例えば、おもてなしフラワー事業を活用し、立山黒部アルペンルートへの観光バスが立ち寄る五百石駅前花壇や立山あるペン村前花壇を整え、観光客への歓迎の気持ちを伝える試みを行っております。

特に五百石駅前花壇については、平成27年度に立ち上げた「立山町おもてなしフラワー協議会」の会員である地方銀行、区長会、町内学校、鉄道会社、園芸店のみなさまにご協力をいただいております。今年 5 月には地元の保育園児やグリーンキーパーらの協力を得て、ペコニア・サルビア・ニチニチソウ約420株の植え付けを行いました。



写真2 おもてなしフラワー 花苗植え (H30)

また、町の観光地緑化事業として、アルペンルートの入り口である立山駅やその周辺の観光施設、交通拠点である五百石駅（立山町元気交流ステーション）正面プランター花壇を地元の園芸店の協力を得て設置しております。

これらの維持管理には、地方銀行のグリーンキーパーをはじめとする住民の方々の協力が欠かせません。

現在13銀行74名（うち頭取13名）で構成される地方銀行のグリーンキーパーは、それぞれの地域の核である公園や駅、公民館といった施設を中心に、日々熱心に緑化活動を行い地域を牽引する非常に頼もしい存在です。

このような、住民が一丸となつての緑化活動の取り組みが末永く続くよう、「みどり維新の町」を念頭に取り組んでいきたいと考えております。

結びに、公益財団法人花と緑の銀行及び関係者のみなさまには引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

子供が遊べる、子供を育む庭づくり

花と緑の銀行入善支店

学校法人富山育英学園 入善幼稚園園長 松原 雅子

園庭の樺の下、妖精のようにサルビアの蜜を吸う園児。砂で作ったケーキを花びらや草の葉で飾り、アサガオの花で作ったジュースを添える園児。先生にシロツメクサの花で髪飾りを作ってもらう園児。こうした園児の花への関わり方から、見るだけでなく、遊べる楽しい花壇を作ろうと思いました。

花壇づくりのねらいを次の三点としました。

- ・環境美化（花のある景観づくり）
- ・情操教育（植物の成長や命の尊さを学ぶ）
- ・食育（自然の恵みや生産に感謝）

そして、ねらい達成のため以下の三点に留意しています。

一つ目は、花が元気に育つよう、その花の特性に応じた場所に配置しています。ほとんどの花は日向を好みますが、中には日陰、半日陰の方が元気に育つものがあるからです。

二つ目は、道路と園庭の両方からの眺めを考えて配置しています。

三つ目は、子供が五感を使って遊べる花を植えています。

- ・目で楽しむ＝花は同系色でまとめる。アクセントに補色を入れる（紫と黄、青とオレンジ等）
- ・音を聞く＝花柄を摘むと音を出す（マリーゴールド）
- ・食べる＝蜜を吸う（チェリーセージ、サルビア）
実を食べる（イチゴ、フサスグリ、枝豆）
- ・匂いを嗅ぐ＝触ると芳香を放つ（ラベンダー、アガスターシェ、セージ等）
- ・触る＝触ると種がはぜる（インパチェンス）
触ると葉が閉じる（オジギソウ）

等々、花や植物により豊かな情緒を培いたいと願っています。



写真1 樺の下のシェードガーデン
ホスタ、コリウス、インパチェンス等



写真2 中学生や年長さんと一緒に

「花と緑の銀行」から支給される花苗は、年々改良され育てやすくなってきました。また、多年草や宿根草も支給されるようになり、変化のある花壇づくりが楽しめるようになりました。加えて、園児に人気のあるフウセンカズラやアサガオ、コキア、ひまわり等の種を蒔き、「去年もあったよね。」「私この花好き。」と園児が親しめるように心がけています。また、フジバカマ、オミナエシ、シモツケソウ等、日本古来の宿根草の植栽にも心がけています。

その他、町のマスコットキャラクターである「ジャンボール三世」の看板を数箇所かに設置し、子供たちに「おはなのなまえおぼえたかな。」等と語りかけています。気に入った花の名前を一つでも二つでも覚えてほしいという願いからです。



写真3 ジャンボールのお城
外壁はコキア、王座への階段は日々草

第45回富山県花のまちづくりコンクール

第45回富山県花のまちづくりコンクール（4部門：学校、幼稚園・保育所、一般、花の道）を、7月中旬～8月上旬に実施しました。その結果と総評は次のとおりです。

なお、上位入賞団体については、10月25日（木）に開催される第46回花と緑の大会（富山県民会館）で表彰されます。

1 学校花壇部門



最優秀賞 高岡市立 成美小学校

今年は、高温少雨の悪条件でしたが、どの学校も頑張って、それぞれに彩りが美しく盛り上がった素晴らしい生育状況の花壇を見せていただきました。暑い夏の灌水にはどの学校にもご苦労があったことと思います。例年優劣がみえるベコニアは、少雨のために苦戦せず、乾燥に弱いインパチェンスにやや育ちの悪いものがありました。生育状況が特に素晴らしい学校は、牛糞・糞堆肥などを入れ、柔らかい土づくりができていたことに注目しました。

デザインは子供達から募り、多くの工夫がみられました。デザインは立体的にイメージすることが有効ですが、眺める方向なども意識してつくり上げられてい

賞	市町	学 校
最優秀賞	高岡市	高岡市立成美小学校
優秀賞	富山市	富山市立大久保小学校
	富山市	富山市立船峠小学校
	黒部市	黒部市立石田小学校
	砺波市	砺波市立庄東小学校
	射水市	射水市立塚原小学校
優良賞	黒部市	黒部市立若栗小学校
	黒部市	黒部市立生地小学校
	射水市	射水市立作道小学校
奨励賞	富山市	富山市立老田小学校
	氷見市	氷見市立湖南小学校
努力賞	高岡市	高岡市立二塚小学校

ました。花の名前札も、相応しい大きさと、デザインに調和するものがよいと思いました。

活動と取り組みについては、全校児童が多くの場面で関わっていることがうかがえました。苗づくり・土づくり・苗の植え付け・水やり・草取り・摘花等を自身が体験し、こうすればこんなに美しい花壇になるという自信と感動を語ってくれました。

子供達に関わらせるための工夫が様々あり、栽培委員会によるゲーム形式での呼びかけなどで次第に盛り上がった例がありました。さらに、花壇づくりの活動を通して保護者や地域の方との交流が生まれ、教えていただく方々への感謝の念を育みました。

2 幼稚園・保育所花壇部門



最優秀賞 富山市 西田地方保育所

いずれの園においても子供の視線を意識し、園児が花壇の中に入って遊んだり学んだりできるように、花のトンネルやストーリー性が感じられる子供のための花壇にと工夫が随所にこらされていました。

園によって花壇を設置できる場所はさまざまですが、狭い場所でもプランターをうまく利用して、子供たちのためにはもちろん、園児の送迎の方や、地域の方々が共にくつろげる場としての花壇、公道に面した所を意識した花壇等、地域交流のある花壇づくりに

賞	市町	幼稚園・保育所
最優秀賞	富山市	西田地方保育所
優秀賞	射水市	小杉西部保育園
	入善町	入善幼稚園
	高岡市	成美保育園
優良賞	富山市	老田保育所
	富山市	宮川保育所
	氷見市	速川保育園
	氷見市	南大町こども園
奨励賞	富山市	まつわか保育園
	射水市	小杉東部保育園

なっていました。

アサガオなどで緑のカーテンを作ったり、野菜を取り入れて収穫の喜びや食育に役立てようとしたり、花の蜜を楽しんだり、花を採っての色水遊びなど、自然とのふれあいを楽しみ、コンクールのための花壇づくりではなく、花壇を通じて園児たちの豊かな情操が育まれていく大きな役割を果たしているように感じました。

3 一般花壇部門



最優秀賞 砺波市 南般若花と緑の推進協議会

現地説明では今夏の水やりの苦労を皆さんが口にされていましたが、花壇の花に対する猛暑の影響は団体によって異なっていました。立地条件もそれぞれ違いますが、手入れが行き届かなかったり病気に侵されて生育不良となった花や、株が枯死して裸地となった部分も見受けられ、御苦労のあとがしのばれました。そんな中、上位の団体の花壇は生育状況、開花状態とも素晴らしい出来栄えとなっていました。

デザインの的には上位の団体は甲乙つけがたいほどの僅差で素晴らしいものでした。地域の資源を生かしたり、ちょっとした工夫で花壇の見栄えをよくするアイデアも随所に見られました。活動・取り組みについ

賞	市町	団 体
最優秀賞	砺波市	南般若花と緑の推進協議会
優秀賞	砺波市	梅檀山花と緑の推進協議会
	射水市	黒河地域振興会
	南砺市	玉成花壇愛好会
	南砺市	福野北部自治振興会
	南砺市	イオックスヴァルト花の会
	氷見市	一芻花壇愛好会
	小矢部市	北蟹谷花と緑の友の会
優良賞	砺波市	油田地区花と緑の推進協議会
	入善町	花と緑の銀行 棚山地方銀行
	砺波市	中野花と緑の推進協議会
	射水市	浅井きらりガーデン
	富山市	文京町公園愛護会
	高岡市	小勢緑化推進委員会
	魚津市	経田花と緑の振興会
奨励賞	高岡市	蔵野町花の愛好会
	氷見市	藪田花壇
	富山市	上堀駅を愛する会
努力賞	富山市	塩谷久美子
	小矢部市	福上花愛好会
若葉賞	射水市	市井モデル花壇

ては、地域の多くの方が参加して管理されている花壇もあれば、少人数の構成員やほとんど担当者一人で管理しておられる所もあります。街から離れていて人目に付きにくい場所だったり、隣接する保育所が統合廃止されて寂しくなる花壇もありますが、多くの方に見ていただきたいと思います。

4 花の道部門



最優秀賞 南砺市 桐木花と緑の推進協議会



特別賞 砺波市 五ヶみちグループ

賞	市町	団 体
最優秀賞	南砺市	桐木花と緑の推進協議会
特別賞	砺波市	五ヶみちグループ
優秀賞	高岡市	立野栄町花づくり会
	南砺市	梅ヶ島フラワー街路の会
	小矢部市	野ぎくの会
	砺波市	太田福寿会
優良賞	富山市	ルーラル羽根
	高岡市	下伏間江地域環境保全委員会
	小矢部市	メルヘン花工房
	射水市	ふたくち花ロード
奨励賞	南砺市	開発花友の会
	富山市	大沢野・上大久保地区花いっぱいグループ
努力賞	氷見市	一石山花壇

審査前は花がへたっていないか心配していましたが、全般に元気で、中には一見平年と変わらない生き生きとした出来栄の箇所も多く見受けられました。様々な立地条件、活動体制、企画、栽培管理、リーダーシップ等、異なる事情の中での審査は難しいのですが、生育ダメージの程度が少なからず評価に影響したのかなと思います。

それにしても当日立会された皆さんはとっても元気な表情で、明日まで枯れないでくれと、花に声かけされたグループもあるなど、熱心な管理に当たっておられる皆さんには頓首するほかありません。高齢化や後継者難、気象変動など対処すべき課題も多々ありますが、世話する人を愛でる気持ちも伝えていかねばと考えさせられました。

(コメント：審査講評の抜粋です。)

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン

31 キキョウ

職藝学院

教授 渡 邊 美保子

キキョウは秋の七草のひとつで、万葉の時代から日本人に親しまれてきた丈夫な宿根草です。秋の花のイメージがありますが、6月中旬になると鮮やかな青紫色の花が咲き始め10月初旬まで咲いています。日当たりが良く、腐葉土をすきこんだ水はけの良い所を好みます。

キキョウは草丈が100cm前後で、根元から何本も花茎を垂直に伸ばします。6月になると花茎の先端に小さな緑色のつぼみが上を向いて並びます。そして一日ごとに淡紫に色づきながらふくらんでゆきます。つぼみが濃い紫色の五角形の紙風船のようになると五等分に割れて5枚の花びらになります。キキョウは、雌しべの先端に同じ花の花粉が付かないような仕組みを持っています。薄青い棒のような雌しべを取り囲むように5本の雄しべがぴったりとくっついたまま花を開きます。すぐに雄しべには白い粉がふいてきます。これが花粉です。そして雌しべの周りに花粉をまわりつかせると、雄しべは花びら側に90度ほど曲がりしおれてゆきます（写真1）。雌しべの周りについた花粉が無くなると雌しべの先が5つに割れて、くるとそり返り白い小さな花が開いたようになります（写真2）。この時に、雌しべの先端で他の花の花粉を受け入れます。

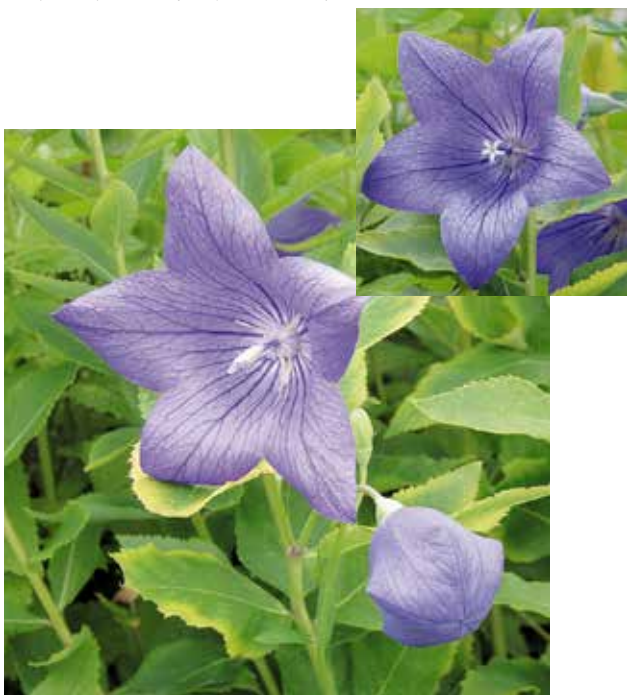


写真1 キキョウの雄しべの花粉が雌しべの花柱につき、雄しべはしおれてゆく。開花2日後。（下段）

写真2 キキョウの雌しべの柱頭が割れて5枚の花びらのように見える。開花して4日目。（右上段）

キキョウの根はゴボウのように太く、たくさんの養分を蓄えているためでしょうか、6月初旬から10月初旬の長い間、それぞれの茎の葉の付け根から次から次とつぼみを生み出します。それに比べて、キキョウの花が咲いているのは4～5日です。花が終わると紫色だった花びらは、まるで色を吸い取られるように白くなってゆき、ふくらんだ緑の実からしわくちやの紙がぶらさがっているようになります。あれほど清らかでつややかな花を咲かせていたのに思いもよらない姿に変わります。7月中旬になると、つぼみは次々とポンと割れて忙しそうに咲き進みますが、開花期間が短いため、しおれた花もあっという間に増えてゆきます。花付きと見栄えを良くしたい場合は、花がしおれてきたら緑の実をぼきぼきと摘み取ります。毎朝の日課になるぐらい忙しくなります。

組み合わせは、8月初旬から開花が重なるオミナエシの黄色の花との相性がぴったりです（写真3）。キキョウとオミナエシは、山の草刈り場などに自生していたとのことですが、現在ではそのような場所がほとんど無くなり、絶滅危惧種に指定されています。自然界の組み合わせを庭に取り入れてみませんか。



写真3 キキョウとオミナエシ。8月中旬。7月中旬に茎を20cmほど切り戻すと2番花が咲く。



ライトレール沿線を花いっぱい

花と緑の銀行富山支店

岩瀬地方銀行グリーンキーパー 板倉利明

私は、富山ライトレールの沿線、東岩瀬駅から赤田踏切までの約400mの区間に季節ごとの花が咲くように一人で活動しています。

私が住む東岩瀬駅付近の県道には、線路と岩瀬小学校のグラウンドに挟まれて管理が行き届いていない場所があります。その一方で、県道は緑地の少ない岩瀬の街の外周道路なので、散歩やジョギング、そしてサイクリングなど多くの方に親しまれている場所でもあります。

私は、学生時代からライトレールの前身となる富山港線を利用していましたが、線路沿いの枯れて黄色くなった雑草や除草剤の臭いを何とかできないかとずっと思っていました。その場所を、一年を通して花が咲くような心和む場所にしたいと活動を始めたのが、グリーンキーパーに就任した平成21年のことです。

花壇のある線路沿いは、土が少ないうえに石が多く、街路樹の根が張るなど決して条件がよい場所ではありません。土は道路端に溜まったものを集めたり、側溝の落ち葉が自然と腐葉土のようになるまでまって花壇に入れたりしています。

花は、まずカタバミを花壇枠のように植えました。カタバミは非常に強く、花壇を縁取るように毎年ピンクの花を咲かせてくれます。他には、春には菜の花、チューリップ、菖蒲、ポピー。夏には紫陽花、タチアオイ、中輪ひまわり、ポーチュラカ、彼岸花。秋には千日紅、コスモスなど、季節ごとに花が咲くよう15種類以上の花を植えています。

特に自慢はポピーで、5～6月にかけて、ピンク、赤、白、オレンジの大輪の花を咲かせます。その多彩な花がそれぞれグラデーションとなった華やかな姿は他ではなかなか見られない光景だと思います。

写真を撮りに訪れる方も多く、今後も訪れた方々が開放感を感じられる気持ちの良い道になればと思っています。

今年は暑く、雨も降らないため、毎日朝晩一時間ずつ水を撒いたり、除草をしたり、ゴミを拾ったりと大変ですが、自分が好きなように無理をしないことを心がけて活動しています。

今後もライトレール沿線が花いっぱいになるよう、元気なうちは活動を続けていきたいと思っていますので、ぜひ岩瀬のまちへ遊びにお越しください。



初夏のポピーとライトレール

お知らせコーナー（10月～12月の主なイベント）

富山県花と緑の祭典2018 “第46回花と緑の大会”

- ・日時 平成30年10月25日（木） 13：30～16：00
- ・場所 富山県民会館ホール
- ・内容 (1)花と緑の功労者表彰
(2)富山県花と緑のコンクール入賞者表彰
(3)花と緑の講演会

演題 「たねダンゴで花と笑顔いっぱいの町づくり」

講師 小杉波留夫 氏

公益社団法人日本家庭園芸普及協会
グリーンアドバイザー委員会副委員長・たねダンゴ技術委員会委員長
(株)サカタのタネ ガーデンセンター園芸相談員



H29大会講演様相

富山県中央植物園

○富山県中央植物園開園25周年記念特別展

「リンゴ展 ―リンゴ図鑑 111―」 10月5日(金)～11月18日(日)

111種類のリンゴの紹介を中心に、県内のリンゴ栽培や利用などについて幅広く紹介します。期間中の毎週日曜日には、試食会などリンゴに関連する様々なイベントを開催します。

○第26回TOYAMA植物フォーラム

「リンゴの種類とその利用」 11月11日(日) 13:00～16:00

リンゴの品種や歴史、県内生産、リンゴ酒「シードル」について、各専門家から話を伺います。

○第12回秋のラン展 11月23日(金・祝)～25日(日)

この時期に見ごろを迎えるカンランや洋ランを展示します。

○ランの栽培講習会 11月24日(土)・25日(日) 13:30～15:00

○クリスマスフェア 12月7日(金)～9日(日)

コンサート、クリスマスにちなんだ花鉢・切花などの販売。クリスマススープの無料配布など

○花と緑のコンクール入賞作品展 12月14日(金)～26日(水)

平成30年に(公財)花と緑の銀行が実施した各種コンクールの入賞作品や花壇写真を展示します。

(詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。)

県民公園 頼成の森

○キノコ狩りと観察会 10月14日(日) 10:00～13:00 定員: 50名 参加費: 300円

○頼成の森ボランティアの集い 10月28日(日) 10:00～12:00 定員: なし 参加費: 無料

○頼成の森“感謝の集い” 11月18日(日) 9:30～14:00

林内散策、オカリナ演奏、抽選会、キノコ鍋など 定員: なし 参加費: 無料

リースづくり教室 定員: 30名 参加費: 500円

干支づくり教室 定員: 40名 参加費: 200円

(詳細はHPをご覧ください。申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ。)



中央植物園「オオオニバスに乗ってみよう」 H30.8.17



編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-2425
FAX 076-465-5923
<http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-4187
FAX 076-465-5923
<http://www.bgtym.org/>

花と緑の銀行だより 209号

発行日 平成30年9月
再生紙を使用しています。

県民公園頼成の森

〒939-1431 砺波市頼成156
TEL 0763-37-1540
FAX 0763-37-1450
<http://www.bgtym.org/ranjiyounomori/>